



野崎小だより 1月号

令和3年1月6日 和歌山市立野崎小学校



「新年あけまして、おめでとうございます。」

校長 川本 智之

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、よいお年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2学期の終業式に、子どもたちに、12月6日(日)未明に、JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」が、6年間の宇宙飛行を終え、小惑星『りゅうぐう』から、砂や岩など様々な物質を採取したカプセルを地球に届けたというニュースを覚えていますかと聞いてみました。

『それは、約52億4000万kmの旅路から、「太陽系の起源」や「地球の海や生命の材料」の秘密を探る重要な手がかりとなる「玉手箱」を、宇宙から持ち帰えるという偉業であり、日本の科学者たちが成し遂げたものです。

地球が出来た約45億年前の創成期には、小惑星などの小さい天体が次々と地球に衝突し、生命の源となる物質が蓄積されていったと考えられています。今回の「りゅうぐう」からの宝物が、これまでわからなかった「生命の起源」について教えてくれる可能性があるということです。人類に関するの未知のことが解明されていく。何かワクワクしますね。また、ニュースがあると思いますので、しっかり覚えておいてください。』と話をしました。

5年生は、加太合宿の夜、星の観察で、「土星の環」「木星の衛星」「月のクレーター」「スバル星団」など、夜空に広がる本物の天体を観察しました。「土星の環」などは、とてもきれいで不思議だなと感じたことだと思います。

この「不思議だな」「面白そうだな」ということから、誰も知らないような大発見や大発明へとつながっていきます。

新しい年を迎え、子どもたちには、好きな事、やってみたいこと、興味の持てるものを見つけて欲しいと思います。たくさん本を読むのもいいかもしれませんね。新しい発見がいっぱいあります。

3学期は一番短い学期ですが、学年のまとめ、そして新しい学年に向けての心構えや準備をする大切な学期です。

子どもたちが、今年の良いスタートがきれるよう、教職員一丸となって頑張ってまいります。ご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



1 月行事予定 (育友会行事も含む)



家庭数

※下記は予定です。やむを得ず変更する場合がありますので、ご了承ください。

- 6(水) 3学期始業式、登下校指導、安全点検、あいさつ運動、いじめなくそうデー
- 7(火) 給食開始、集金日、フォローアップ
- 8(金) 集金日
- 11(月) 成人の日
- 12(火) 身体測定(1・2・3年)、ぶくぶくタイム、書初会清書(～20日)
- 13(水) 【短縮校時】身体測定(4・5・6年)、委員会
- 14(木) フォローアップ
- 15(金) 登下校指導、あいさつ運動
- 18(月) のぎき健康貯金(～24日)
- 19(火) ALT、6年電気出前教室、ぶくぶくタイム
- 21(木) 読み聞かせ3・4年、教育相談、フォローアップ
- 22(金) なわとび大会(1限)
- 23(土) 市科学作品展(フォルテワジマ)(～24日)
- 25(月) 「のぎき健康貯金」提出、読み聞かせ1・6年、フォローアップ

- 26(火) 読み聞かせ2・5年、ぶくぶくタイム
- 27(水) 【短縮校時】クラブ
- 28(木) 6年保護者学級、フォローアップ

2月の主な行事予定

- 12(金) 新入児保護者説明会
- 13(土) 育友会奉仕作業&花を植えよう
- 18(木) 学校保健委員会
- 25(木) 授業参観・学級懇談会
- 26(金) 6年お別れ遠足

- 3(水) 和歌山市立河北中学校
新入生入学説明会(13:30 受付)
- 20(土) 和歌山市立河北中学校
新入生学用品販売(10:00～12:00)

3月の主な行事予定

- 18(木) 卒業式
- 24(水) 終業式

アンケートご協力のお礼

保護者の皆様には、お忙しい中「よりよい野崎小学校をつくるためのアンケート」にご協力いただきありがとうございました。皆様のご意見を本校の教育に反映させていけるようにしたいと考えております。

のぎきっこスポーツ校内記録会

今年度は例年1学期に実施している新体力テストが中止されましたが、12月4日に、「のぎきっこスポーツ記録会」と称して、ソフトボール投げと立ち幅跳びの記録会を行いました。50m走については、各学年ごとに体育の時間に記録を計りました。昨年よりも今年の記録、さらに来年の記録へと毎年更新していけるよう、体力づくりも意識して行いたいものです。

ペア学年交流会

12月に、ペア学年による交流会を行いました。1・6年ペアは「おにごっこことだるまさんが転んだ」、2・5年ペアは「障害物競走」、3・4年ペアは「タグラグビー」をしました。どのペアも、上級生学年が企画をし、下級生学年を楽しませてあげようと取り組んでいました。上級生に優しくしてもらった子は、自分が年上の立場になったとき、きっと年下の子に優しく接してあげる子に育つことでしょう。